

子どものチカラ × 地域活動

「先生、あのね・・・」～詩集『サイロ』の50年～ 「上映と朗読会」を開催

十勝地方に半世紀以上続く子どもの詩集「サイロ」にスポットを当てたドキュメンタリー番組、HTBノンフィクション「先生、あのね・・・」（2011年5月放送）。番組の放送後、もっと多く子どもたちや親たちに見てほしいという声をたくさんいただいたことから、HTBは、2012年から地元・帯広や鹿追町、当麻町、札幌市、また「サイロ」ゆかりの地でもある福島県で番組の上映と朗読の会を開催してきました。

HTBディレクター・フリーアナウンサー五十嵐いおり、HTBアナウンサー依田英将が、これまで「サイロ」に掲載された詩を朗読で紹介するほか、子ども達がこの朗読会のために書いた詩を自ら朗読しました。

第13回 7月16日(木) 帯広市立川西小学校
(1年生～4年生86人)

第14回 8月13日(木) ふくしまキッズ栗山サマーキャンプ
(小学3年生～中学2年生38人・うち福島から15人)

第15回 10月15日(木) 札幌市立西白石小学校
(5年生、6年生61人)

【HTBディレクター 五十嵐いおりのコメント】

2012年にスタートしたこの取り組みは、一度の放送で終わらせることなく、番組を活用した地域活動に発展しました。今年も、番組のテーマである児童詩誌「サイロ」のふるさと十勝、そして札幌の小学校での開催に加え、初めて「ふくしまキッズ」の活動として栗山町で実施しました。福島県は、「サイロ」誕生のきっかけとなった子どもの詩集「青い窓」のふるさとです。今も二つの詩集は交流を続けていることもあり、ご縁を感じながらの朗読会となりました。福島と栗山町の子どもたちはチームを組み「連詩」（一人一行ずつ詩をつないでいく詩作）に挑戦。力を合わせて完成させた詩はすばらしいものでした。

日々のカリキュラムでは取り組む時間はほぼないという学校が多い中、この集いが「詩」に触れるきっかけとなることを願って止みません。

●放送 HTBノンフィクション「先生、あのね・・・」～詩集『サイロ』の50年～
2011年5月28日(土) 16:00～16:55 放送
プロデューサー 渡辺 学
ディレクター・ナレーター 五十嵐いおり

2012年10月 テレビ朝日系列の番組コンテスト「プロGRESS賞」優秀賞受賞

●活動 北海道・十勝地方で半世紀続く子どもの詩集「サイロ」朗読活動とドキュメンタリー番組「先生、あのね・・・」
上映活動

第51回(2013年度) ギャラクシー賞 報道活動部門 奨励賞受賞